

令和5年度 小樽双葉高等学校 学校自己評価書 第三者評価 結果

それぞれの評価項目について、自己評価の結果や改善方策が「A=妥当である」「B=妥当でない」「C=どちらともいえない」を「妥当性」の欄に記入

自己評価と改善方策

	評価項目	自己評価の結果	改善方策	妥当性
学習指導	教員の授業力向上の取組	スタディサポートを指標に生徒の主体性を活かす授業づくりを進めた	教科研究会への参加など教員の授業力の強化	A=100%
	授業に関連する評価の充実	生徒に評価を提示する機会を増やし到達度を自覚させ学習意欲を高めた	評価から生徒の主体的取組を促す指導	A=100%
	特進FTB TIMEの実施	FTB TIME で学習の振り返りを充実	FTB TIME の充実発展の検討	A=100%
生徒指導	基本的な学校生活習慣の確立	基本的な生活習慣はほぼ定着した	学年との連携重視	A=100%
	生徒との信頼関係強化	教員と生徒の信頼関係はおおむね良好である	生徒との信頼関係をより深めるための啓発強化	A=100%
	いじめ・問題行動の防止の取組	いじめに対して学校全体で取組む体制は確立している	いじめの防止についての取組強化	A=100%
	支援が必要な生徒への対応	サポート委員会が機能的に対応した が特別支援教育に係る研修が必要	特別支援教育に関する研修充実	A=100%
進路指導	入試情報の提供	進路情報を発行が適時性に欠けた	情報執筆担当者の明確化	A=100%
	進路行事の充実	進路シラバスの作成を行った	進路シラバスの遂行と調整	A=100%
	模試等の結果分析	特進指導会議で分析と対策を行った	模試結果を授業改善へ反映	A=100%
	進学講習等の充実	進路合宿は実施できなかった	進路合宿の企画運営	A=100%
	キャリア学習室活用	一部の生徒の積極的利用があった	学習室活用方策の検討	A=100%
特別活動	生徒会活動の充実	充実した学校祭を実施できた	学校祭の外部アピール	A=100%
	部活動の充実	強化指定部を中心に活躍があった	部活動の活性化と外部発信	A=100%
	学校行事の充実	おおむね通常の行事ができた	宗教・学校行事の充実	A=100%
入試広報	広報活動の充実	SNS 等による広報は充実した	ホームページの充実	A=100%
	中学生向け行事の充実	オープンスクールなど取組の充実	本校の魅力発信の工夫	A=100%
	全職員の広報活動	担当者による中学校訪問	担当を固定し中学連携強化	A=100%
通信教育	生徒・保護者との連携	生徒への働きかけと個別指導の充実	生徒・保護者との連携の強化	A=100%
	魅力的な学校行事	修学旅行等特別活動の計画の充実	行事の計画と実行の充実	A=100%
	通信制の活動の発信	「ふたばつうしん」の発行	発信力の強化	A=100%
	通信制業務の効率化	業務の属人化と教員間の連携	ICT を活用した業務の効率化	A=100%
学校経営	信頼される学校づくり	教職員の人権意識の涵養	ハラスメント防止の研修	A=100%
	組織活動・連携の強化	組織活動・連携が不足の解消	定例分掌部会等主幹・部長を軸にしたガバナンスの強化	A=100%
	研修の充実	課題解決に向けた研修の強化	研修委員会による企画強化	A=100%

回答者数4名